

# 巻 頭 言

## 「心理科学の追究に向けて」

帝塚山大学心理科学論集第2号を刊行することができました。

本学は心理学部とともに、心理学専修と臨床心理学専修からなる心理科学研究科を擁し、「実験心理」、「社会・応用心理」、「発達・臨床心理」の各分野において、心理学や関連領域の専門的知識と技能の基礎から応用までを段階的に修得し、それらを活用して環境や人との関係性に応じて柔軟に対処することができる人材を養成しています。さまざまな学びにおいて「心理学は科学である」ということを基盤に、分野間の連関をも重視していますが、心理科学論集はその一つの成果であり、外部査読者による査読制度も導入して水準の維持、向上を目指しています。

ご存じのように、心理学分野では初めての国家資格「公認心理師」が誕生しました。本学におきましても、今年度から学部・研究科においてその養成に対応したカリキュラムでの教育を開始しました。とくに研究科の臨床心理学専修においては、従来から臨床心理士養成に取り組んでおり、今後はダブル資格取得を目指せるようになりました。公認心理師の資格取得のためには、学部から心理学についての学びを積みあげることが求められ、研究科においては、その基礎的な学びをさらに深め、広げていける可能性が一層高まりました。

これらの資格は心理臨床実践の専門家であることを示すものですが、生涯にわたる自主的な学習、研鑽が必須であり、臨床実践についての科学的観点にたった研究を通してその有用性を検証し、より質の高い取り組みにつなげることが求められているといえます。本学が取り組み続けている基礎から応用までの、かつ、さまざまな側面からの学びは、臨床実践においても大いに生かされていくことでしょう。

今後も、帝塚山大学心理学部および心理科学研究科では質の高い教育、研究に取り組み、本論集においてその成果をお示しできるよう努めてまいります。

帝塚山大学心理学部  
学部長 奥村由美子